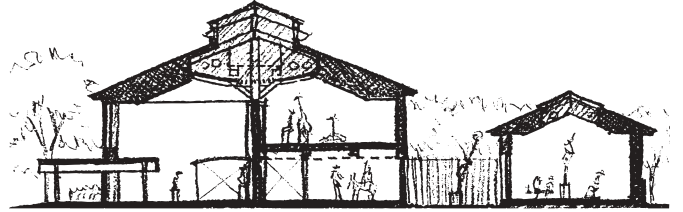




あさご芸術の森美術館
—淀井敏夫記念館—

2017/7
第55号

美術館だより
友の会だより



淀井敏夫「山羊の歌」(1994年)／ブロンズ／H232.0×W50.0×D53.0cm

山羊の親子であろう、危険な岩山で親山羊が自分の頭を踏み台にして子山羊を高いところへ登らせようとしている。こうした光景が実際にあるかどうか分からないが、山羊の親子の絆と愛情が伝わってくる。

開催中の
企画展

水中の生き物たち 骨格標本展

～機能的美しさを知る～

〈会期〉9月3日(日)まで 〈会場〉2階企画展示室

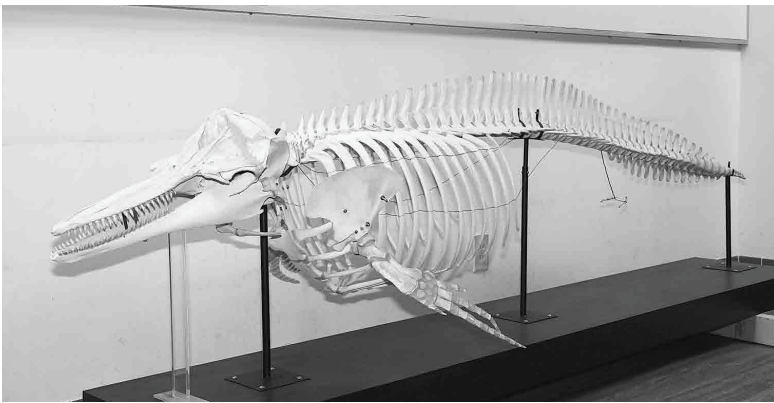
当館は人文系の美術館ですが、近隣に自然系博物館がないこともあり、昨年(2016年)の夏休み企画として「あさご夏の昆虫展 むしむし大集合」(兵庫県立人と自然の博物館共催)を開催し、大好評でした。それに続いての自然系資料の展示となります。

魚は世界で約32,000種類いるといわれ、脊椎(せきつい)動物の約50%を占めています。それに比べ、人間を含めたほ乳類はわずか約8.4%にしか過ぎません。この展覧会では、膨大な種類の中から、サメやイルカ、カメ、サンショウウオなど代表的な水中の生き物を選び、その骨格やはく製を見たり、実際に触ったりしながら、構造の違いや成り立ちを知り、水の中の生活や行動の多様性に興味を抱いてくれることを目的としています。

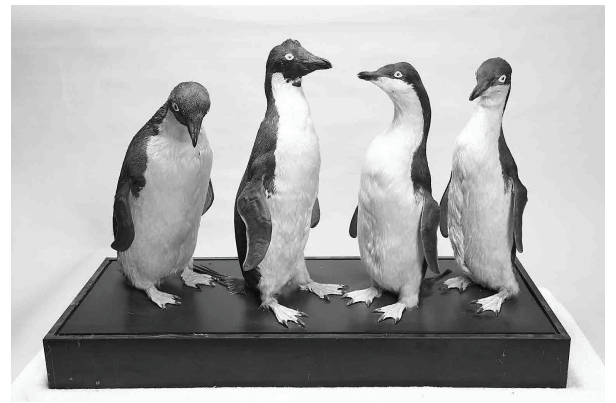
また、それぞれの特徴や暮らしの様子について理解を深めることで、生き物に対する思いやりの心を育むとともに、資源開発などの社会情勢の変化によって生息域がおびやかされている種もいることから、住みやすい環境保全の大切さを学んでほしい、と思います。

本展では、神戸市立須磨海浜水族園から「アカミミガメ」「オーストラリアハイギョ」「スナメリ」「バンドウイルカ」の全身骨格、「ホホジロザメ」の顎骨、「メジロザメ」「アリゲーター(ワニ)」の頭骨のほか「ラッコの子」のはく製など約30点を借用し、展示します。兵庫県立人と自然の博物館からは「オオサンショウウオ」の全身骨格とはく製、城崎マリンワールドから「サメの乾燥卵」など、県立尼崎工業高校の生徒が作った鉄製の首長竜「フタバスズキリュウ」の骨組みも並べます。さらに、壁面には、水中生態画家・樽本龍三郎さんの絵画「スナメリ」など約30点を飾り、美術館がまるで水族館になったような演出をします。

彫刻家淀井敏夫(1911～2005年)は、しばしば「彫刻は芯(しん)が肝心だ。骨組みがしっかりできればしめたものだ」と言っています。この展覧会を通して、目には見えませんが、体の中の最も重要な骨格の大切さ、機能的な美しさを実感してもらえれば幸いです。



バンドウイルカの全身骨格



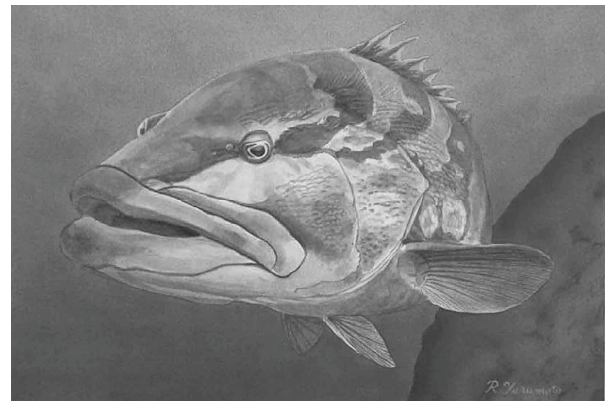
ペンギンのはく製



ホホジロザメの顎骨



ラッコの子のはく製



樽本龍三郎「クエ 4」(2007年・アクリル)

開催中の
企画展

こころのアーティスト展

〈会期〉7月17日(月・祝)まで 〈会場〉1階アトリエ室・2階企画展示室

障害のある人たちが制作した絵画や造形作品を紹介する「こころのアーティスト展」(巡回展)を開催します。朝来市では、前回の2014年5月以来、2度目になります。

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会(神戸市)は毎年秋、兵庫県内で創作活動に取り組んでいる障害のある人たちを対象に、日ごろの成果を広く知ってもらおう、あるいは、芸術性あふれる制作にもっと光を当てたい、との思いから、広く作品を募集し、福祉施設「しあわせの村」(神戸市)などで発表しています。

本展では、2016(平成28)年に応募のあった124人の中から選ばれた10人の絵画や書、陶芸、彫塑合わせて約100点を一堂に展示しています。選考に当たっての「審査講評」(服部正・甲南大学准教授)を掲示していますので、鑑賞の手引きにいただければ幸いです。

「十人十色」とはよく言ったもので、10作家それぞれの作品とその出来上がるまでの心の動き、そこから発せられる多様な美意識は、新鮮な驚きをもって誰もが容易に受け入れることができます。作品がもつ不思議な魅力は、まぎれもなく作り手本人そのものであり、見る側の胸中に響き、素直にストンと落ちてきます。作品の、社会的な評価とは別な次元で、特性がいかに発揮され、より豊かな世界がさらに拡充できるような社会の実現に、徐々にですが、向かっていることを本展は物語っています。ともあれ、作り手としての障害のある人たちはもちろん、支援する人たちの温かさ、そして何よりも作品自体が放つ“磁力”を十分味わっていただきたいと思います。可能性はまだあります。今後、障害の有無にかかわらず、すべての人たちが一緒になって、芸術交流の場が広がることを期待いたします。



新井 咲「旅シリーズ3」(油彩/45×54cm)

あさご芸術の森アートフェスティバル2017



謎の講談師・アマコッコ堂ちんげんさい



アクアジェルキャンドル

夏のチャイルドアートキャンプ

- 日時(1回目)…7月28日(金)午前10時～29日(土)正午
オリジナルアクアジェルキャンドル作りと謎の講談師・アマコッコ堂ちんげんさいとアシスタントのアマコッコ堂さきえもんによるイラスト絵画教室、溶接廃材を使った鉄くずアートと講談体験を行います。
- 日時(2回目)…8月4日(金)午前10時～5日(土)正午
平面造形作家椿野浩二さんと流木を使った流木アートと魚をモチーフにした陶芸に挑戦。さらにアートDE遊ぼう!に参加し自由制作を行います。
いずれも
- 募集定員…各回20人 ●参加料…1回5,500円



チャイルドアートキャンプ

アートDE遊ぼう!

- 主に子どもを対象としたワークショップで、自由に絵画と立体造形に取り組みます。素材の加工方法や道具の使い方などは、それぞれの作家が親切、丁寧に指導します。様々な表現方法を学び、創造力を高めます。夏休みの絵画・工作の宿題もこれでOK!
- 日時…8月4日(金)～6日(日)午前9時半～午後4時30分
(最終受付午後3時)
- 参加料…1作品につき1,000円 ※親子での参加は1,500円
- 木工指導…坂本収(木工作家)
- 造形指導…コウノ真里(平面作家)、田中喜典(陶芸家)
茅田麻里(ガラス工芸作家)、椿野彩(平面作家)



アートDE遊ぼう!



アートDE遊ぼう!



織り体験ワークショップ



おそろいグラスDE乾杯!!

織り体験ワークショップ

織機を使って、自分だけの素敵な作品作りに挑戦しよう!

また、家に織機があるけど使い方が分からない。もっとうまくなりたい人を対象にした相談コースも新設しました。

- 講師…西山まい美(染織家)
- 日時…8月5日(土)～6日(日)午前9時半～午後4時

①細めの糸で布を織る～小機手織りコース(1日間)

足踏み織り機を使い、1日間で作品をつくります。

- 対象…小学生以上
- 定員…4人
- 参加料…3,300円(要予約)

②太めの糸でざっくり織る～卓上機手織りコース(1日間)

卓上織り機を使い、1日間で作品をつくります。

- 対象…小学生以上
- 定員…4人
- 参加料…2,800円(要予約)

③織の相談コース

自分の織機を持参してのレクチャーコース

- 対象…小学生以上
- 定員…3人
- 参加料…3,300円(要予約)

親子でテラコッタに挑戦!

テラコッタ粘土を使って、世界に一つの植木鉢を作ろう! 花を植えて玄関に飾るのもよし、サボテンなどを入れて部屋に飾るのもいいですね～! 家族でワイワイ楽しもう!

- 日時…7月22日(土)午後1時30分～3時30分
- 場所…あさご芸術の森美術館
- 参加料…親子で1,000円(1人増えるごとに500円増し)
- 対象…家族で参加できる方
- 定員…5組(要予約)

でっかい!?さかな作っちゃお!

発泡スチロールを使って、でっかい魚を作ろう!

一枚の発泡スチロールを切り抜いて、描いたり、くっつけたりしながら、色とりどりの素敵な魚を作るよ～!

- 日時…7月23日(日)午後1時30分～4時
- 場所…あさご芸術の森美術館
- 参加料…1人につき500円
- 対象…小学生以下 ※未就学児の場合は保護者同伴
- 定員…10人(要予約)

こっぴで好きに作っちゃえ!

いろいろな形をした、たくさんのおこっぴ(木切れ)を使って作品を作ろう! 色を塗ったり、くっつけたり、時間内だったら自由に作っていいよ～!

ただし、道具の片づけ! 材料を無駄にしない! 美術館では走らない! 大声を出さない! 約束を守る子どもはみんな集合～!!

- 日時…8月11日(金・祝) 1部 午前10時～正午
2部 午後1時30分～4時
- 場所…あさご芸術の森美術館 ●参加料…1人につき300円
- 対象…不問 ※未就学児の場合は保護者同伴
- 定員…なし ※ただし、座席・道具の数に限りがあります。また、混雑時など、お待ちいただく場合があります。

おそろいグラスDE乾杯!!

グラスに描いてペアグラスを作ろう! 好きなデザインをグラスに描いてルーターで削っていきます。お盆休みはオリジナルグラスで乾杯!

- 日時…8月12日(土) 1部 午前10時～正午
2部 午後1時30分～3時30分
- 場所…あさご芸術の森美術館
- 参加料…親子で1,000円(1人増えるごとに500円増し)
- 対象…親子・家族で参加できる方
- 定員…各回3組(要予約)

NEWS トピックス

ASAGO ART VILLAGE

あさご芸術の森アートフェスティバル ～あれからはや20年～

4月22日(土)～6月18日(日)まで、1Fアトリエ室で「あさご芸術の森アートフェスティバル～あれからはや20年～」を開催しました。

アートフェスティバルは、20年前に大人を対象にした宿泊型のワークショップ、アートキャンプとして始まり、その後アートDEあそぼう、チャイルドアートキャンプ、ダムの風に吹かれてコンサート等、様々な企画を経て、今ではあさご芸術の森の夏の風物詩となっています。

今回の企画展では、これまでイベントに参加いただいた講師の皆さんをはじめ、アートキャンプの参加者たちの作品17人28点の作品が集まりました。これらの作品を通して、作家たちのこれまでの足跡をたどりながら、それぞれのアートへの向き合い方を楽しむとともに、あらためてあさご芸術の森美術館が大切にしてきた人と人とのつながりを再確認することができました。



展示の様子

兵庫ゆかりの作家展にて 芸術の層の厚さを実感

相撲界に「地位は相撲を取ってくれない」という言葉があります。上位に昇進し、それなりに認められても、いわゆる「肩書」だけでは強くなれない、その道の精進が大切だ、という意味です。



展示風景

「兵庫県公館所蔵 兵庫ゆかりの作家展」を通して、相撲と芸術の世界は、分野が異なるものの根っこは同じだ、という思いがしました。

兵庫県公館は1902(明治35)年、4代目の県庁舎としてフランス・ルネサンス様式で建設されましたが、1945(昭和20)年の神戸空襲で煉瓦(れんが)造りの外壁だけを残して消失。戦後、修復が行われ、1985(昭和60)年に迎賓館と県政資料館として生まれ変わり、2003(平成15)年には国の登録有形文化財に指定されています。

同公館は、県内をはじめ国内外の画壇に大きな足跡を残した作家の絵画や彫刻、工芸、書など多彩な作品約120点を所蔵しています。いずれも兵庫県文化賞受賞作家の逸品で、普段は同公館の特別室や会議室、ロビーなどに飾られています。

2015(平成27)年の開館30周年記念事業では全作品が一般公開され、あらためて、兵庫県の芸術力の高さを再認識するきっかけとなりました。今回、但馬地域文化向上のためにと、その中から34点を借用しました。所蔵品がまとまって館外へ貸し出されるのは初めてです。

本展では、初代兵庫県知事伊藤博文の書「鷗盟」をはじめ、日本画の西田真人「華燈」、小磯良平「KOBE, THE AMERICAN HARBOUR」や元永定正「あかまるしかくしろいひかりがでてみたい」、横尾忠則「ROGER AND

ANGELICA 19」などの洋画、荒木高子の彫刻「ポケットバイブル」、工芸では3代永澤永信「晨」などを展示しました。各画壇の動向が俯瞰(ふかん)できた内容です。=写真左=

5月21日(日)には、兵庫県立美術館館長補佐で公館展示アドバイザーを務める飯尾由貴子さんによる解説会=写真下=を行いました。小磯良平「KOBE…」は公館に掛かる緞帳(どんちょう)の原画であること、伊藤博文「鷗盟」は「カモメを友とする=職を辞す」の意味があるなど、鑑賞テキストを教えてくださいました。

おそらく、作家にとって文化賞受賞は通過点であり、冒頭の「地位は相撲を…」の精神を実践し、精進を重ねてきた方々です。その業績をたたえとともに、県内近・現代美術各界の層の厚さを実感できた展覧会になったのでは、と確信します。



ギャラリートーク

芸術村とフリーマーケットを 開催しました!

芸術村とフリーマーケットを5月21日(日)に開催しました。

当日は天気にも恵まれ、また「国際博物館の日」事業の一環として美術館の無料開放を行ったこともあり、約1,100人の来場者でにぎわいました。

恒例の「芸術村」=写真次ページ上=では木工芸やかざら編み、革細工や陶芸の体験や実演が行われ、親子で



芸術村の様子

楽しそうにアート体験をしている様子も見られました。

また、今回の「フリーマーケット」=写真右上=では、「ブースに手作りの品物があること」を条件に加え、美術館らしい出店を心掛けました。

イベントでは、朝来市のマスコット「ちゃすりん」が会場に駆けつけてくれたほか、恒例となった「クイズに答えてお菓子まき」では、美術館と日本遺産認定を記念して鉱山にちなんだクイズを出題し、正解者による「お菓子争奪戦」が繰り広げられました。

ごちそう村では、ラーメンやクレープのほか、ジェラートやポップコーンなどの出店がありました。友の会では義援金の呼びかけと「フルーツポンチ」の販売を行いました。その売り上げ金28,520円を日本博物館協会「大

規模災害に係る被災博物館等の復興支援金」として寄付いたしました。



フリーマーケットの様相

ダム湖マラソンでオリジナル缶バッジ作りを実施!

6月4日(日)のダム湖マラソンでは、もっと芸術の森を楽しんでもらおうと、あさご芸術の森美術館出張ブースとして、オリジナル缶バッジ作りを実施しました。

ブースでは自分で好きな絵を描いて缶バッジを作るコースと、記念写真を撮って、その写真を缶バッジにするコースを用意。500色ある色鉛筆を使い試行錯誤しながらかわいい絵を描く子どもたちや、記念品として、マラソンを完走した仲間全員で写真を撮って、それを記念にする参加者ら、多くの人でにぎわい、思い思いの缶バッジを付けて芸術の森を散策していました。

2017年友の会総会を開催

5月13日(土)、第19回あさご芸術の森友の会総会を開催しました。

昨年度の総会で、市内外から会員を募ることを目標にしたことにより、昨年よりも多くの会員を獲得することができました。今後も美術活動支援などを通じて、よりよい美術館になるよう協力することとなりました。

総会で決定した理事の皆さんの役割は以下のとおりです。

平成29年度友の会理事(敬称略)

顧問	椿野 浩二
会長	水田 文夫
副会長	大田垣 強
	能見 勇八郎
	山木 葉末
理事	東 達生
	安保 健一
	池野 雅視
	加藤 貴之
	西垣 憲志
	藤本 イサム
	益田 久彰
	宮田 さと子
会計	田中 絵莉香
監事	北村 美樹
	宮田 利見

館長お薦めミステリー

野村正樹 著「山陰名湯〈瓜子姫〉殺人」

競争社会と効率偏重の果てに——

JR西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス 瑞風」が運行を始めた。京都・大阪から下関まで、山陰線経由は、途中、城崎温泉や出雲市などに立ち寄りながら、四季折々の沿線風景、グルメを満喫する。

本書は、2000年ごろの日本経済を背景にした人間ドラマ。いわゆる「バブル」がはじけ、企業内再編成(リストラ)が盛んに行われた時代、社内に生き残れるかどうか、勝ち組と負け組の相克が基軸となって展開する。

東京のフリーライター凌子は夕刊紙の依頼で、山陰線沿いの有名そば処(どころ)の取材旅行に出る。出石、倉吉、出雲…取材の合間に温泉に浸かり、松葉ガニを奮発してなどと計画。同行は友人で専業主婦の香織。ところが、最初の訪問地、出石で思わぬ事件に巻き込まれる。町の散策に出掛けた香織が、出石城跡の石垣から人が落ちる悲鳴を聞く。

一方、イベント企画会社の紀子は仕事を兼ね、2人と合流すべく東京から寝台特急列車「出雲」に乗り、松江に向かう。が、宍道湖畔での殺人事件に遭遇、さらに、出雲市日御碕(ひのみさき)のがけ下の死体を発見する。

3つの事件は関連があるのか。凌子、香織、紀子の3人は、但馬署や松江西署の刑事らと“捜査合戦”を繰り広げ、犯人にたどり着く。犯人の心の闇にあるのがリストラ。競争社会と効率偏重の結果として起きた事件だ。

そばとカニ、山陰線と伯備線、城崎や湯村、三朝、皆生などの温泉、瓜子姫伝説を巧みに組み合わせた旅情豊かなミステリー。同じ山陰線を走行する「瑞風」をトリックに使えば、ストーリーはどう転がるのだろう。楽しみだ。(双葉社刊・800円+税)



募集

ASAGO ART COMPETITION 2017

第6回 あさごアートコンペティション

[野外設置作品・作品募集]

テーマ「異空間&遊び心・こども心」

締め切りは8月31日(木)〔必着〕です。

朝来市では、国道312号線からあさご芸術の森美術館までの間を季節ごとに異なる表情を見せる豊かな自然環境を生かし、誰もが心を遊ばせ、感動を呼び起こすことのできる、日常とはかけ離れた「異空間」として整備を進めています。今回のA.A.Cでは、その指定場所に恒久設置する野外彫刻作品をマケット(模型)で公募します。

■賞 金…400万円(実作品・マケット制作と運搬・設置を含む買取賞金)

■出品料…5,000円(25歳以下は3,000円)

※くわしくはあさご芸術の森美術館にお問合せいただくか、朝来市のHPをご覧ください。



第4回大賞…space of a mirror / 佐野耕平

山元町に「絆—へその緒—」設置

水田文夫

東日本大震災復興をアートの力で支援しようと、平成27年秋から実行委員会が動き始めた「5大陸国際彫刻シンポジウム」(あさご芸術の森美術館友の会も協賛)。28年5月に代表の牛尾啓三氏と海外の彫刻家4人が、「絆」や「希望」をテーマに作品を制作。今年4月に青森、岩手、宮城の被災地に設置が完了しました。

4月10日、朝来市が応援職員を派遣し復興支援していることが縁で、宮城県山元町に「絆—へその緒—」(イアン・ニューバリー / スウェーデン)の設置が行われ、立ち会ってきました。

設置場所は、旧中浜小学校横の「東日本大震災慰霊塔 徳本寺千年塔」広場です。この広場の中心には、黄色いハンカチの塔があり、その南に旧中浜小学校があります。ハンカチには「生きる…笑顔を忘れない」「前を向いてがんばろう」「東北の空は希望の青い空」などのメッセージが書かれていました。

また、旧中浜小学校は、震災時に児童56人、教師13人、住民21人が避難し、全員が助かりました。奇跡の小学校です。津波に対する避難訓練、防災教育が地域・学校で伝統的に行われていた学校で、子供たちが提案した2階の屋根裏に逃げ込む階段が、児童を救いました。町では、震災遺構として残す取り組みを始められました。この学区には2地区合わせて420世帯ほどありましたが、ほとんどの家が津波で流失。慰霊碑に刻まれた犠牲者も100人を超えて

いました。

設置には、関係者のほか、全国こども絵画選抜展で朝来市長賞を受賞した阿部泉人君がお父さんと一緒に駆けつけてくれました。思いがけない再会で大変うれしかったです。残念だったのは、阿部君がこれまでに二度授賞式に来てくれています。「会場まで行ったが、あさご芸術の森へは行けなかった」と話してくれたことです。阿部君は、翌日が中学校の入学式とのこと。中学生になっても元気で、楽しい絵を届けてくださいと、お願いしてきました。

今回の復興応援モニュメントが、地域に根を下ろし復興をやさしく見守り続けてくれることを祈っています。併せて、友の会や作家グループで続けられている復興支援の取り組みを続けることの重要性を感じて帰ってきました。



スケジュール 2017.7 → 2017.12

ASAGO ART VILLAGE

月	日	曜	内 容	対 象	期間・時間など	掲載ページ
7	開催中		こころのアート展	一 般	7月17日まで	3
	22	土	水中の生き物たち 骨格標本展	一 般	9月3日まで	2
			親子でテラコッタに挑戦	受講生		4
	23	日	でっかい!?さかな作っちゃお!	受講生		4
	28	金	チャイルドアートキャンプ(1班)	小学生	7月29日まで	3
8	4	金	アートDE遊ぼう!	受講生	8月6日まで	3
			チャイルドアートキャンプ(2班)	小学生	8月5日まで	3
	5	土	織体験ワークショップ	受講生	8月6日まで	4
	11	金・祝	こっぴで好きに作っちゃえ!	受講生		4
	12	土	おそろいグラスDE乾杯!!	受講生		4
9	16	土	第6回あさごアートコンペティション入賞・入選マケット展	一 般	10月29日まで	
	17	日	織作峰子写真展「朝来散策」	一 般	10月15日まで	
10	19	木	学校厚生会但馬支部美術展	一 般	10月24日まで	
	28	土	作家の提案シリーズ Ver.18 竹田正美展(仮称)	一 般	12月3日まで	
11	3	金・祝	第13回全国こども絵画選抜展	一 般	12月3日まで	
12	9	土	アート2018干支展(戌)	一 般	1月14日まで	

あさご芸術の森美術館友の会 会員の近況

★磨野郁子「第9回憲法9条を守る 女性美術展」

会期…2017年5月3日(水)～20日(土) / 会場…ギャラリーかもがわ

★磨野郁子、磯部隆、元木昭治、森反伸一郎、廣瀬紀明、片尾照子、ヒーロー伊藤「独自性の追求」

会期…2017年6月5日(月)～10日(土) / 会場…ギャラリー菊

★四宮 龍「四宮龍展 -Waveシリーズ-」

会期…2017年6月7日(水)～6月18日(日) / 会場…画廊 ぶらんしゅ

★藤本イサム・満里子、山下理恵「遊のくらし・木・布・ガラス展」

会期…2017年6月10日(土)～17日(土) / 会場…ギャラリー左司馬

★磨野郁子「『妙なる箱』第3回展」

会期…2017年6月25日(日)～7月9日(日) / 会場…アートスペース妙



あさご芸術の森美術館

ASAGO ART VILLAGE

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3
 TEL(079)670-4111 FAX(079)670-4113
<http://www.city.asago.hyogo.jp/>
 E-mail : art-village@city.asago.hyogo.jp

